

商品名 ナルフラフィン塩酸塩カプセル2.5μg「日医工」 医薬品基本情報

薬効	1190 その他の中枢神経系用薬	一般名	ナルフラフィン塩酸塩カプセル
英名	Nalfurafine hydrochloride	剤型	カプセル
薬価	261.40	規格	2.5μg 1カプセル
メーカー	日医工	毒劇区分	(劇)

ナルフラフィン塩酸塩カプセル2.5μg「日医工」の効能・効果

(慢性肝疾患患者におけるそう痒症、透析患者におけるそう痒症)の改善

ナルフラフィン塩酸塩カプセル2.5μg「日医工」の使用制限等

1. 本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 重度<Child-Pugh分類グレードC>の肝障害、腎機能障害、中等度<Child-Pugh分類グレードB>の肝障害	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

ナルフラフィン塩酸塩カプセル2.5μg「日医工」の副作用等

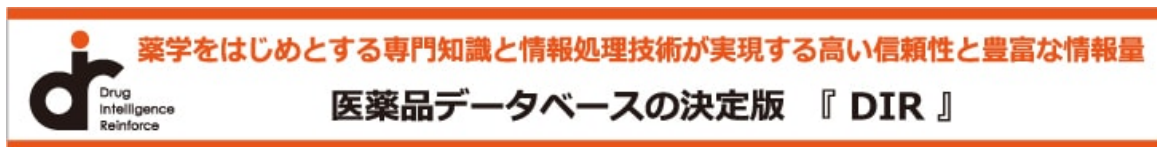
1. 著しいAST上昇、著しいALT上昇、著しいAl-P上昇、著しいγ-GTP上昇、肝機能障害、黄疸	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明
2. 不眠、便秘、頻尿、夜間頻尿、プロラクチン上昇	記載場所	その他の副作用
3. 不穏、せん妄、易怒性、皮膚色素沈着、LDH上昇	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明
4. 眠気、浮動性めまい、頭痛、いらいら感、幻覚、構語障害、レストレスレッグス症候群、振戦、しびれ、口渇、悪心、下痢、嘔吐、食欲不振、腹部不快感、胃炎、口内炎、湿疹、発疹、蕁麻疹、紅斑、丘疹、総胆汁酸上昇、AST上昇、ALT上昇、Al-P上昇、γ-GTP上昇、ビリルビン上昇、多尿、動悸、ほてり、血圧上昇、テストステロン低下、甲状腺刺激ホルモン低下、甲状腺刺激ホルモン上昇、抗利尿ホルモン上昇、女性化乳房、好酸球増多、貧血、尿中血陽性、尿中蛋白陽性、倦怠感、胸部不快感、脱力感、回転性めまい、異常感、浮腫、血中リン低下	記載場所	その他の副作用
	頻度	5%未満

5. プロラクチン値上昇、内分泌機能異常	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
6. 生存胎仔数減少、出産率低下、出生仔体重減少、幻覚、不安、重度眠気、不眠、血圧低下、受胎率低下	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明

ナルフラフィン塩酸塩カプセル2.5μg「日医工」の相互作用

1. 薬剤名等：CYP3A4阻害作用のある薬剤等	発現事象	本剤の血漿中濃度が上昇	投与条件	-
	理由・原因	本剤の代謝が阻害	指示	注意
2. 薬剤名等：グレープフルーツジュース等	発現事象	本剤の血漿中濃度が上昇	投与条件	-
	理由・原因	本剤の代謝が阻害	指示	注意
3. 薬剤名等：睡眠薬	発現事象	幻覚、振戦、眠気、不眠、せん妄、浮動性めまい	投与条件	-
	理由・原因	本剤による中枢性の副作用が増強	指示	注意
4. 薬剤名等：抗不安薬	発現事象	幻覚、振戦、眠気、不眠、せん妄、浮動性めまい	投与条件	-
	理由・原因	本剤による中枢性の副作用が増強	指示	注意
5. 薬剤名等：抗うつ薬	発現事象	幻覚、振戦、眠気、不眠、せん妄、浮動性めまい	投与条件	-
	理由・原因	本剤による中枢性の副作用が増強	指示	注意
6. 薬剤名等：抗精神病薬	発現事象	幻覚、振戦、眠気、不眠、せん妄、浮動性めまい	投与条件	-
	理由・原因	本剤による中枢性の副作用が増強	指示	注意
7. 薬剤名等：抗てんかん薬	発現事象	幻覚、振戦、眠気、不眠、せん妄、浮動性めまい	投与条件	-
	理由・原因	本剤による中枢性の副作用が増強	指示	注意
8. 薬剤名等：オピオイド系薬剤	発現事象	幻覚、振戦、眠気、不眠、せん妄、浮動性めまい	投与条件	-
	理由・原因	本剤による中枢性の副作用が増強	指示	注意

発現事象	本剤の作用が増強あるいは減弱	投与条件	-
理由・原因	両剤の薬理学的な相互作用（増強又は拮抗）	指示	注意



Copyright© 2005-2025 e-pharma All rights reserved.